

習志野演習場・駐屯地へのオスプレイの飛来及び訓練と 船橋市上空通過、また日米共同訓練に反対する陳情

防衛省の計画では昨年度中に全 17 機が木更津基地に配備される予定だった陸上自衛隊のオスプレイは現在 9 機が配備済みです。計画よりも遅れているとはいえ、着実に配備が進んでいることは確かです。またその 9 機も木更津を中心に訓練範囲を広げており、千葉県内のみならず茨城県の百里基地、群馬県の相馬原演習場、静岡県東富士演習場へも行き来しています。防衛省が千葉県に示した訓練計画では相馬原演習場に木更津から向かう際には習志野演習場を経るルートが示されていましたが、これまでの訓練では別ルートで飛行しています。このことは 2020 年に船橋市、習志野市、八千代市の 3 市長名で防衛大臣に提出した要請書が功を奏しているのかと推察されますが、しかし今後もそうである保証はありません。また防衛省はこれらへの飛行計画を 1 回目だけは事前に当該自治体に伝えたものの、2 回目以降は事前も事後も連絡をしないと答えています。昨年 12 月 2 日に木更津から相馬原に向かった際には木更津から沿海部を北上し、市川市の江戸川放水路の上を辿り向かったことが市民の目撃情報から分かりますが、何も知らなかった市川市民はいきなり目の前に大きな見慣れない航空機が低空で現れ、轟音と高速で飛び去ったことに驚きと恐怖を感じたと述べています。防衛省の計画に鑑みて、今後そのようなことが船橋市内でも起こりえます。

オスプレイが構造上の欠陥をもつ航空機であり、これまでに事故や墜落を数多く繰り返してきたことは周知の事実です。昨年 12 月 1 日の夜、米軍オスプレイが館山基地に緊急着陸をした時には、大きな音と地震かと思うような振動が周囲の住宅を襲ったそうです。またこの際の機体の故障

は修理完了までに3週間近くを要したことから軽微な故障ではなかったと思われます。これらの事故や緊急着陸を案じていた矢先の今年3月18日にノルウェーでNATOの演習中に米海兵隊のオスプレイMV22が墜落し、乗員4名全員が死亡しました。このMV22と陸上自衛隊のV22機は構造がほぼ同型です。この事故の報せはV22機に搭乗する自衛隊員とそこご家族にも衝撃を与えたのではないのでしょうか。もちろん習志野演習場周囲に住む私たち船橋市民にとっても同じです。

船橋市民が不安と苦痛を覚えているのはオスプレイだけではなく。日頃のCH47機を用いた訓練の騒音は凄まじく、周囲の学校では授業の中断は日常茶飯事です。さらに日米共同訓練が「降下訓練始め」というイベントのみならず、通常訓練として一昨年から行われるようになり、その3回目が4月19～21日に行われたばかりです。横田基地所属の米軍C130J機が演習場上空を周回し、特に21日の夜間訓練は90分近くも続き、大きな音を立てる低空飛行を地域住民は怯えた目で見上げていました。米軍機に横田基地から陸自第一空挺団員が乗り込み、習志野演習場上空で機内の米軍人の「ジャンプ」つまり「飛べ」の命令を受けて空挺団員が飛び出すこれらの訓練の動画が公開されています。これはまさに米国の戦争に自衛隊員を連れ出し、戦わせるための訓練ではないのでしょうか。専守防衛の自衛隊の任務を逸脱し、もちろん憲法9条にも反するこの訓練が船橋市民に知らされることなく行われている現状を看過しては今後ますますその頻度や内容が悪化していくと懸念されます。先述の3市長連名の要請書への回答は未だ防衛省から市に届いていません。さらに一昨年9月来3回実施された日米共同訓練の事前の市への報せはいずれも直前でした。これらのことから考えて、防衛省が船橋市及び船橋市民の安心安全に真摯に取り組んでいるとは思えません。

よって以下の事項を陳情します。

〔陳情項目〕

- 1, 習志野演習場・駐屯地においてオスプレイが訓練を行わないように国に求めてください。
- 2, オスプレイが船橋市、習志野市、八千代市上空を飛行することがないように国に求めてください。
- 3, 陸上自衛隊木更津駐屯地へのオスプレイ配備に船橋市として撤回の声をあげてください。
- 4, 米軍と自衛隊の共同訓練を習志野演習場・駐屯地で行わないように国に求めてください。
- 5, 米軍と自衛隊の共同訓練を今後行わないでほしいですが、万一実行される場合、船橋市への事前の情報提供をもっと早く、詳しく行うように国に求めてください。
- 6, 今後、米軍と自衛隊の共同訓練を行うとの情報が国からもたらされた場合は速やかに、かつ確実に市民にその情報が行き渡るように市の責任でしてください。

以上